

エアリーフローラ球根生産における 「農福連携」の取り組みを進めています

中央普及支援センター

石川県が育成したフリージアのオリジナル品種「エアリーフローラ」は、秋に球根を植え、冬から翌年春にかけて咲く花で、切り花として出荷されます。

翌年の種となる球根は、切り花を栽培する農家自身が10月にハウス内へ球根を植え付け、翌年5月頃に掘り上げる方法で生産されていますが、水稻主体の生産者では、3月以降は水稻の育苗にハウスを使用することや、掘り取り・選別時期が水稻の作業とも重なることから、球根養成が難しい状況でした。

このため、中央普及支援センターでは、令和元年から球根養成を専門とする生産者の育成を進めてきました。令和2年に球根養成に係る生産者の作業内容について、実証圃を設置し検証を行った結果、掘り取り後の球根選別作業に多くの時間を要することが分かりました。

ただし、球根選別作業は限られた2か月程度の間で集中的に行う必要があるため、このような短期間の作業請負が可能なところを探す必要がありました。

そこで、県健康福祉部と連携し、障害のある方の就労支援を行っている福祉施設とマッチングを行い、作業をお願いする前に、施設の管理者に対する講習会を開催し、事前に作業確認や説明を行うことで理解を深めていただきました。

また、取り組みを進めるにあたり、県農福連携促進アドバイザーから作業上の役割分担等の助言をいただき、令和4年に県内の8施設に作業（①病気や害虫の被害を受けた球根の除去、②球根の大きさの分別）を委託することができました。その結果、10万球の選別が予定期間内に完了し、これにより、生産者による球根養成と福祉施設と連携した球根選別作業の分業体制が可能であることが分かりました。

選別作業後、納品された球根は、丁寧な作業で品質も良く、福祉施設側からも取扱量の拡大を望む声があったことから、今後も「農福連携」の取組を拡大するための働きかけを行っていきたいと考えています。



図1 福祉施設での球根選別作業



図2 大小に分別された球根

問い合わせ先：農林総合研究センター農業試験場

中央普及支援センター（076-257-9150）